

情報公開文書

課題名：緊急腹腔鏡下虫垂切除術を施行した虫垂炎診断における術前因子の検討

研究期間：倫理委員会承認日～ 2022年3月31日

1. 研究の対象

2015年1月から2018年5月の間に、当院において術前検査で穿孔を認めない急性虫垂炎に対して、腹腔鏡を用いた緊急虫垂切除術を受けた方

2. 研究目的・方法

急性虫垂炎の診断は、マルチスライスCTの普及により正確な診断の割合は向上しました。手術前のCT検査において腸管の壁に穴が開いて消化液や食物・便などが消化管の外へ漏れ出している状態(穿孔といいます)を示す症状が認められなければ単純性虫垂炎と判断し、治療方針を決定していきますが、単純性虫垂炎と判断された場合においても、実際は前述の穿孔に伴う症状を認める複雑性虫垂炎であり、その後の治療が難航する場合があります。

今回、当院において腹腔鏡を用いた緊急虫垂切除術を施行した症例を検討し、複雑性虫垂炎診断に有用な術前因子の検討を行います。

方法は、手術中の所見と病理結果より単純性と複雑性の2群に分け、CT検査の所見及び虫垂の大きさ、手術前の血液検査データ、使用した抗生物質の種類等について調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、薬歴、術後合併症等の発生状況、血液検査データ、

CT検査画像データ、カルテ番号等

試料：血液 手術検体

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である立田協太が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

住所: 浜松市中区富塚町 328 番地 浜松医療センター

電話: 053-453-7111(代表)

消化器外科 医師 立田協太 (研究責任者)